

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

# 2019(令和元)年度決算報告書

2019(平成31)年4月1日から2020(令和2)年3月31日まで

一般社団法人 日本船舶電装協会

## 収支計算書（資金収支）

2019(平成31)年4月1日から2020(令和2)年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[ 4,686,000]	[ 4,661,833]	[ 24,167]	
基本財産利息収入	4,686,000	4,661,833	24,167	
特定資産運用収入	[ 4,000]	[ 3,385]	[ 615]	
特定資産利息収入	4,000	3,385	615	
会費入金収入	[ 54,982,000]	[ 56,715,100]	[△ 1,733,100]	
正会員会費収入	51,007,000	51,502,600	△ 495,600	
賛助会員会費収入	3,075,000	3,112,500	△ 37,500	
入金収入	900,000	2,100,000	△ 1,200,000	
補助金等収入	[ 68,000,000]	[ 67,642,000]	[ 358,000]	
日本財団助成金収入	68,000,000	67,642,000	358,000	
負担金収入	[ 6,925,000]	[ 6,161,200]	[ 763,800]	
一般事業負担金収入	234,000	178,600	55,400	
助成事業負担金収入	6,691,000	5,982,600	708,400	
雑収入	[ 1,384,000]	[ 1,525,381]	[△ 141,381]	
受取利息	1,000	1,081	△ 81	
雑収入	1,383,000	1,524,300	△ 141,300	
事業活動収入計	135,981,000	136,708,899	△ 727,899	
2. 事業活動支出				
事業費支出	[ 135,076,000]	[ 112,530,229]	[ 22,545,771]	
一般事業費支出	14,282,000	5,900,623	8,381,377	
(活性化対策)	( 1,392,000)	( 496,019)	( 895,981)	
(調査指導事業)	( 8,702,000)	( 1,921,457)	( 6,780,543)	
(刊行費)	( 4,188,000)	( 3,483,147)	( 704,853)	
日本財団助成事業費支出	14,000,000	13,553,593	446,407	
(技術指導等)	( 11,000,000)	( 10,639,047)	( 360,953)	
(LED器具)	( 3,000,000)	( 2,914,546)	( 85,454)	
その他事業費支出	106,794,000	93,076,013	13,717,987	
(役員報酬支出)	( 22,203,000)	( 21,356,321)	( 846,679)	
(給料手当支出)	( 47,534,000)	( 40,804,815)	( 6,729,185)	
(退職給付支出)	( 11,600,000)	( 11,573,460)	( 26,540)	
(福利厚生費支出)	( 10,414,000)	( 8,836,134)	( 1,577,866)	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
(物件費支出)	( 1,010,000)	( 752,767)	( 257,233)	
(支払報酬支出)	( 956,000)	( 685,400)	( 270,600)	
(事務費支出)	( 2,257,000)	( 1,399,913)	( 857,087)	
(賃借料支出)	( 8,777,000)	( 7,412,271)	( 1,364,729)	
(支払手数料支出)	( 2,043,000)	( 254,932)	( 1,788,068)	
管理費支出	[ 31,994,000]	[ 27,560,600]	[ 4,433,400]	
役員報酬支出	2,468,000	2,372,924	95,076	
給料手当支出	10,988,000	10,939,457	48,543	
退職給付支出	2,300,000	2,237,940	62,060	
福利厚生費支出	2,735,000	2,588,421	146,579	
会議費支出	3,580,000	3,033,941	546,059	
旅費交通費支出	1,598,000	581,870	1,016,130	
物件費支出	202,000	150,547	51,453	
支払報酬支出	192,000	137,080	54,920	
事務費支出	452,000	279,982	172,018	
広告宣伝費支出	244,000	122,080	121,920	
賃借料支出	1,756,000	1,482,453	273,547	
支払手数料支出	409,000	50,988	358,012	
渉外費支出	1,386,000	838,955	547,045	
諸会費支出	1,400,000	1,368,350	31,650	
租税公課支出	1,774,000	1,244,682	529,318	
雑支出	510,000	130,930	379,070	
事業活動支出計	167,070,000	140,090,829	26,979,171	
事業活動収支差額	△ 31,089,000	△ 3,381,930	△ 27,707,070	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	[ 15,300,000]	[ 14,363,002]	[ 936,998]	
退職給付引当資産取崩収入	13,900,000	13,811,400	88,600	
事業活動準備引当資産取崩収入	800,000	—	800,000	
設備購入引当資産取崩収入	600,000	551,602	48,398	
投資活動収入計	15,300,000	14,363,002	936,998	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	[ 7,500,000]	[ 6,926,189]	[ 573,811]	
退職給付引当資産取得支出	4,800,000	4,226,189	573,811	
設備購入引当資産取得支出	2,700,000	2,700,000	0	
固定資産取得支出	[ 600,000]	[ 551,602]	[ 48,398]	
工具器具備品取得支出	600,000	551,602	48,398	

科 目	予算額	決算額	差異	備考
投資活動支出計	8,100,000	7,477,791	622,209	
投資活動収支差額	7,200,000	6,885,211	314,789	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	—	—	—	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	—	—	—	
財務活動収支差額	—	—	—	
Ⅳ 予備費支出	[ 435,000 ]	[ — ]	[ 435,000 ]	
当期収支差額	△ 24,324,000	3,503,281	△ 27,827,281	
前期繰越収支差額	24,324,000	24,649,230	△ 325,230	
次期繰越収支差額	0	28,152,511	△ 28,152,511	

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払費用、未払金、未払費用、前受金、預り金、賞与引当金、未払法人税等及び未払消費税等を含めている。

なお、前年度末及び当年度末残高は、下記2. に記載する通りである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前年度末残高	当年度末残高
現金預金	33,226,737	35,173,296
未収金	166,440	33,180
前払費用	525,086	535,340
合 計 (A)	33,918,263	35,741,816
未払金	1,550,932	705,194
未払費用	52,251	27,854
前受金	758,000	21,000
預り金	451,280	475,146
賞与引当金	5,890,470	5,884,111
未払法人税等	70,000	70,000
未払消費税等	496,100	406,000
合 計 (B)	9,269,033	7,589,305
次期繰越収支差額(A)-(B)	24,649,230	28,152,511

### 3. 科目間の流用及び予備費の使用等について

#### (1) 科目間の流用

以下の通り予算の流用を行った。

(単位：円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出			
給料手当支出	10,838,000	150,000	10,988,000
旅費交通費支出	1,748,000	△ 150,000	1,598,000

#### (2) 予備費の使用

なし。

## 貸 借 対 照 表

2020(令和2)年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	35,173,296	33,226,737	1,946,559
未収金	33,180	166,440	△ 133,260
前払費用	535,340	525,086	10,254
流動資産合計	35,741,816	33,918,263	1,823,553
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
定期預金	53,975,200	53,975,200	0
投資有価証券	397,457,700	397,240,988	216,712
基本財産合計	451,432,900	451,216,188	216,712
<b>(2) 特定資産</b>			
退職給付引当資産	17,517,117	27,102,328	△ 9,585,211
事業活動準備引当資産	14,930,000	14,930,000	0
設備購入引当資産	5,725,000	3,576,602	2,148,398
特定資産合計	38,172,117	45,608,930	△ 7,436,813
<b>(3) その他の固定資産</b>			
工具・器具及び備品	2,544,745	2,925,458	△ 380,713
ソフトウェア	1,810,795	2,459,399	△ 648,604
電話加入権	235,894	235,894	0
敷金	1,367,118	1,367,118	0
その他の固定資産合計	5,958,552	6,987,869	△ 1,029,317
固定資産合計	495,563,569	503,812,987	△ 8,249,418
資産合計	531,305,385	537,731,250	△ 6,425,865
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	705,194	1,550,932	△ 845,738
未払費用	27,854	52,251	△ 24,397
前受金	21,000	758,000	△ 737,000
預り金	475,146	451,280	23,866
賞与引当金	5,884,111	5,890,470	△ 6,359
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	406,000	496,100	△ 90,100
流動負債合計	7,589,305	9,269,033	△ 1,679,728

科 目	当年度	前年度	増減
2. 固定負債			
退職給付引当金	17,517,117	27,102,328	△ 9,585,211
固定負債合計	17,517,117	27,102,328	△ 9,585,211
負債合計	25,106,422	36,371,361	△ 11,264,939
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
日本財団助成金基金	451,432,900	451,216,188	216,712
指定正味財産合計	451,432,900	451,216,188	216,712
(うち基本財産への充当額)	( 451,432,900)	( 451,216,188)	( 216,712)
(うち特定資産への充当額)	(            )	(            )	(            )
2. 一般正味財産			
一般正味財産	54,766,063	50,143,701	4,622,362
(うち基本財産への充当額)	(            )	(            )	(            )
(うち特定資産への充当額)	( 20,655,000)	( 18,506,602)	( 2,148,398)
正味財産合計	506,198,963	501,359,889	4,839,074
負債及び正味財産合計	531,305,385	537,731,250	△ 6,425,865

## 正味財産増減計算書

2019(平成31)年4月1日から2020(令和2)年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 4,661,833]	[ 4,662,047]	[△ 214]
基本財産受取利息	4,661,833	4,662,047	△ 214
特定資産運用益	[ 3,385]	[ 4,100]	[△ 715]
特定資産受取利息	3,385	4,100	△ 715
受取会費入会金	[ 56,715,100]	[ 55,316,600]	[ 1,398,500]
正会員受取会費	51,502,600	51,029,100	473,500
賛助会員受取会費	3,112,500	2,987,500	125,000
受取入会金	2,100,000	1,300,000	800,000
受取補助金等	[ 67,642,000]	[ 63,669,000]	[ 3,973,000]
日本財団受取助成金	67,642,000	63,669,000	3,973,000
受取負担金	[ 6,161,200]	[ 7,284,300]	[△ 1,123,100]
一般事業受取負担金	178,600	210,600	△ 32,000
助成事業受取負担金	5,982,600	7,073,700	△ 1,091,100
雑収益	[ 1,525,381]	[ 1,687,917]	[△ 162,536]
受取利息	1,081	917	164
雑収益	1,524,300	1,687,000	△ 162,700
経常収益計	136,708,899	132,623,964	4,084,935
(2) 経常費用			
事業費	[ 104,088,521]	[ 99,402,116]	[ 4,686,405]
一般事業費	5,900,623	5,725,184	175,439
(活性化対策)	( 496,019)	( 775,250)	(△ 279,231)
(調査指導事業)	( 1,921,457)	( 1,782,485)	( 138,972)
(刊行費)	( 3,483,147)	( 2,741,705)	( 741,442)
(LED器具)	( — )	( 425,744)	(△ 425,744)
日本財団助成事業費	13,553,593	9,586,680	3,966,913
(技術指導等)	( 10,639,047)	( 9,586,680)	( 1,052,367)
(LED器具)	( 2,914,546)	( — )	( 2,914,546)
その他事業費	84,634,305	84,090,252	544,053
(役員報酬)	( 21,356,321)	( 21,714,876)	(△ 358,555)
(給料手当)	( 40,804,815)	( 39,614,507)	( 1,190,308)
(退職給付費用)	( 3,131,752)	( 3,226,370)	(△ 94,618)
(福利厚生費)	( 8,836,134)	( 9,248,273)	(△ 412,139)
(物件費)	( 752,767)	( 702,228)	( 50,539)

科 目	当年度	前年度	増減
(支払報酬)	( 685,400)	( 630,000)	( 55,400)
(事務費)	( 1,399,913)	( 1,192,140)	( 207,773)
(賃借料)	( 7,412,271)	( 7,543,732)	(△ 131,461)
(支払手数料)	( 254,932)	( 218,126)	( 36,806)
管理費	[ 27,953,421]	[ 29,449,166]	[△ 1,495,745]
役員報酬	2,372,924	2,412,764	△ 39,840
給料手当	10,939,457	10,682,202	257,255
退職給付費用	1,094,437	1,694,677	△ 600,240
福利厚生費	2,588,421	2,493,772	94,649
会議費	3,033,941	3,271,188	△ 237,247
旅費交通費	581,870	815,883	△ 234,013
減価償却費	1,536,324	1,279,633	256,691
物件費	150,547	140,441	10,106
支払報酬	137,080	126,000	11,080
事務費	279,982	238,426	41,556
記念事業関係費	—	1,186,074	△ 1,186,074
広告宣伝費	122,080	120,960	1,120
支払寄附金	—	200,000	△ 200,000
賃借料	1,482,453	1,508,746	△ 26,293
支払手数料	50,988	43,620	7,368
渉外費	838,955	526,782	312,173
諸会費	1,368,350	1,309,500	58,850
租税公課	1,244,682	1,284,398	△ 39,716
雑費	130,930	114,100	16,830
経常費用計	132,041,942	128,851,282	3,190,660
評価損益等調整前当期経常増減額	4,666,957	3,772,682	894,275
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	4,666,957	3,772,682	894,275
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	—	—	—
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[ 44,595]	[ 3]	[ 44,592]
経常外費用計	44,595	3	44,592
当期経常外増減額	△ 44,595	△ 3	△ 44,592
当期一般正味財産増減額	4,622,362	3,772,679	849,683
一般正味財産期首残高	50,143,701	46,371,022	3,772,679
一般正味財産期末残高	54,766,063	50,143,701	4,622,362

科 目	当年度	前年度	増減
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[ 216,712]	[ 216,712]	[ 0]
基本財産受取利息	216,712	216,712	0
当期指定正味財産増減額	216,712	216,712	0
指定正味財産期首残高	451,216,188	450,999,476	216,712
指定正味財産期末残高	451,432,900	451,216,188	216,712
Ⅲ 正味財産期末残高	506,198,963	501,359,889	4,839,074

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

##### (a) 満期保有目的の債券

債券金額と異なる価額で取得した債券で、差額が金利の調整と認められるものは償却原価法によっている。

##### (b) その他の有価証券

期末における市場価格等に基づく時価によっている。

時価のないものについては取得価額によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却について

##### (a) 工具・器具及び備品

定額法による減価償却を行っている。

##### (b) ソフトウェア

社内における利用可能期間（5年）に基づき償却している。

#### (3) 引当金の計上について

##### (a) 退職給付引当金

役職員の退職手当支給に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

##### (b) 賞与引当金

役職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

#### (4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

#### (6) 資産除去債務について

当法人は、本事務所オフィスの不動産賃借契約に基づき、オフィスの退去時における原状回復に係る債務を有しているが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来本事務所を移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積ることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	53,975,200	—	—	53,975,200
投資有価証券	397,240,988	216,712	—	397,457,700
小 計	451,216,188	216,712	—	451,432,900
特定資産				
退職給付引当資産	27,102,328	4,226,189	13,811,400	17,517,117
事業活動準備引当資産	14,930,000	—	—	14,930,000
設備購入引当資産	3,576,602	2,700,000	551,602	5,725,000
小 計	45,608,930	6,926,189	14,363,002	38,172,117
合 計	496,825,118	7,142,901	14,363,002	489,605,017

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	53,975,200	( 53,975,200)	( — )	( — )
投資有価証券	397,457,700	(397,457,700)	( — )	( — )
小 計	451,432,900	(451,432,900)	( — )	( — )
特定資産				
退職給付引当資産	17,517,117	( — )	( — )	( 17,517,117)
事業活動準備引当資産	14,930,000	( — )	( 14,930,000)	( — )
設備購入引当資産	5,725,000	( — )	( 5,725,000)	( — )
小 計	38,172,117	( — )	( 20,655,000)	( 17,517,117)
合 計	489,605,017	(451,432,900)	( 20,655,000)	( 17,517,117)

4. 担保に供している資産

該当なし。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具・器具及び備品	4,111,684	1,566,939	2,544,745
ソフトウェア	3,663,024	1,852,229	1,810,795
合 計	7,774,708	3,419,168	4,355,540

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし。

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし。

## 8. 金融商品の状況に関する注記

### (1) 金融商品に対する取組方針

法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用する。なお、デリバティブ取引は行わない方針である。

### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

債券は発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

### (3) 金融商品のリスクに対する管理体制

#### (a) 資産管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当会の資産管理規程により行っている。

#### (b) 信用リスク及び市場リスクの管理

債券の時価情報等について定期的に把握し、理事会に報告している。

## 9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次の通りである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券（基本財産）			
東日本旅客鉄道債 第39回	100,000,000	109,741,000	9,741,000
国債 利付国庫債券（20年） 第61回	19,920,488	20,678,000	757,512
東京都公債 第722回	99,996,695	102,520,000	2,523,305
国債 利付国庫債券（30年） 第10回	77,540,517	89,213,040	11,672,523
兵庫県公債 12年 第4回	100,000,000	104,230,000	4,230,000
合 計	397,457,700	426,382,040	28,924,340

## 10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次の通りである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金	公益財団法人					
日本財団助成金	日本財団	—	67,642,000	67,642,000	—	一般正味財産
合 計		—	67,642,000	67,642,000	—	

## 11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし。

## 12. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

## 13. 重要な後発事象

該当なし。

#### 14. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 17,517,117
② 会計基準変更時差異の未処理額	—
③ 退職給付引当金 (①+②)	△ 17,517,117

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	4,226,189
② 会計基準変更時差異の費用処理	—
③ 退職給付費用 (①+②)	4,226,189

(4) 退職給付債務等の計算に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己要支給額を基礎として計算している。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」を参照。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	5,890,470	5,884,111	5,890,470	—	5,884,111
退職給付引当金	27,102,328	4,226,189	13,811,400	—	17,517,117



科 目	金 額	
その他の固定資産合計	5,958,552	
固定資産合計		495,563,569
資産合計		531,305,385
<b>II 負債の部</b>		
<b>1. 流動負債</b>		
未払金 社会保険料・助成金精算払い分	705,194	
未払費用 コピーカウンター料・プロバイダー接続料	27,854	
前受金 次年度実地調査指導料	21,000	
預り金 源泉所得税・住民税	475,146	
賞与引当金	5,884,111	
未払法人税等 法人都民税均等割額	70,000	
未払消費税等 消費税・地方消費税	406,000	
流動負債合計		7,589,305
<b>2. 固定負債</b>		
退職給付引当金	17,517,117	
固定負債合計		17,517,117
負債合計		25,106,422
正味財産		506,198,963

定款第44条第1項の規定により、2019（令和元）年度決算関係書類を上記の通り提出します。

2020（令和2）年5月1日

一般社団法人 日本船舶電装協会

会 長 山 田 信 一 郎 ㊞

# 監 査 報 告 書

一般社団法人 日本船舶電装協会  
会 長 山田 信一郎 殿

私ども監事は、一般社団法人日本船舶電装協会の2019（平成31）年4月1日から2020（令和2）年3月31日までの業務について監査を実施いたしました。その結果について、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の概要

監事は、理事会に出席するほか、協会事務局から事業の執行状況について聴取し、業務について監査を実施いたしました。

また、当該事業年度に係わる貸借対照表及び正味財産増減計算書及び附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について監査を実施いたしました。

## 2. 監査の結果

(1) 協会の業務について、法令、定款及び規則に従い適正に運用されているものと認める。

(2) 会計監査の結果

貸借対照表、正味財産増減計算書及び附属明細書は、協会の財産及び収支の状況を正しく示しているものと認める。

(3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示していると認める。

2020（令和2）年5月8日

監 事            鳴 釜   孝 光   ㊟

監 事            田 岡   一 樹   ㊟

〈本決算報告書は競艇公益資金による公益財団法人日本財団の助成金を受けて作成した〉